

# 高規格道路の早期整備と高知自動車道暫定2車線区間の着実な4車線化

(土佐SIC～須崎東)

平成30年7月豪雨 高知自動車道の事例

4車線化の有用性を実証

地域の防災力向上に向けた取り組み

南海トラフ地震に備える



▲対面通行による通行再開状況 (大豊IC付近)



▲4車線による通行再開状況 (立川橋IC付近)

負担軽減により迅速な搬送の実現 安全・安心な暮らしの確保

- 現状課題 対応・期待
- 管外搬送では、搬送時間の短縮はもとより、傷病者や隊員の負担軽減や、救急車の空白時間の削減のために高知自動車道を利用
  - 須崎市～高知市の間は2車線であり、事故や工事などにより通行止めとなった場合や、ドクターヘリが飛ばない時間や悪天候時の迅速な救急搬送の確保が課題
  - より迅速に搬送し帰署するためには、4車線化が必要だと日々感じている

◆高幡消防組合の搬送先割合 (H30搬送実績)



※高知県医療政策課 提供データ

年間約3200件のうち約4割が高知市や土佐市への管外搬送



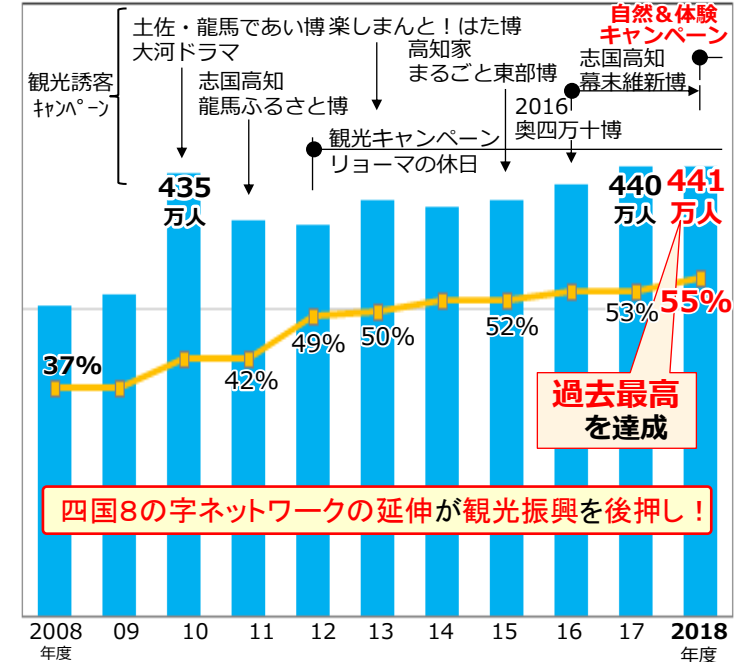
8の字の整備  
【高知道】四車線化

大規模災害時における交通途絶の回避と、平常時における安全で安心な暮らしの確保

# 高規格道路の早期整備と社会資本整備総合交付金の充実【観光振興】

## 県外からの観光客の増加

### ● 県外観光客入込数(■)・8の字整備率(-■-)の推移



### ● 435万人観光の定常化に向けた新たなキャンペーンの開催



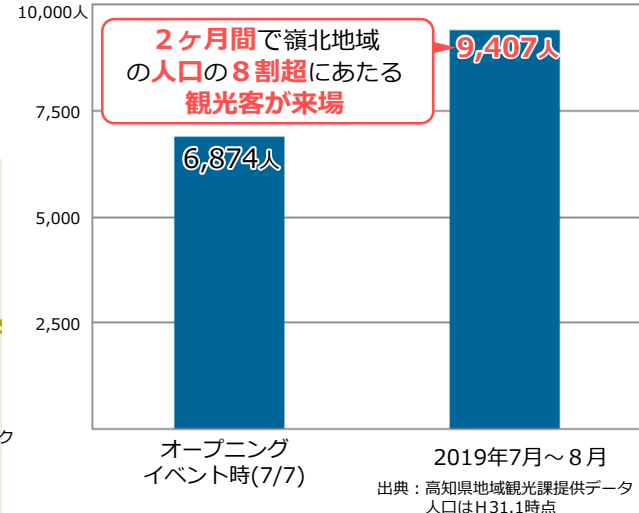
2019年2月1日(金)～2020年12月31日(木)予定

大自然を満喫するアクティビティから、地元の方々とのふれあいや街歩きなど、訪れる人それぞれが高知を満喫できる体験プログラムが充実

## 県と連携した誘客拡大への地域の取り組み【土佐れいほく博】



### ● 「モンベルアウトドアヴィレッジもとやま」来場者数



### ● 観光スポットに通じる県道坂瀬吉野線の状況「汗見川ふれあいの郷 清流館」



▲道路幅が狭く、普通車同士の行き違いも困難  
・道路整備により大型観光バスの通行が可能となれば、団体客の受入も可能に

### ● アウトレッドブランドがプロデュースする拠点が誕生



### ● 地域の方との交流も楽しめる「田舎体験」



# 防災・安全交付金の充実

## ■災害に強い道路ネットワークを構築し、安定的な物流を確保(養殖クロマグロの生産を支える県道安満地福良線の事例)



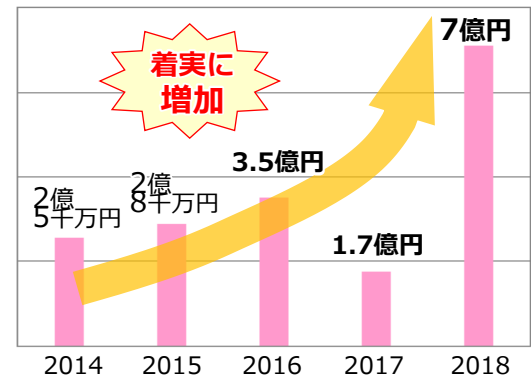
### ■県内最大規模の養殖魚の加工能力を持つ水産加工施設の立地(2019年7月操業開始:宿毛市)



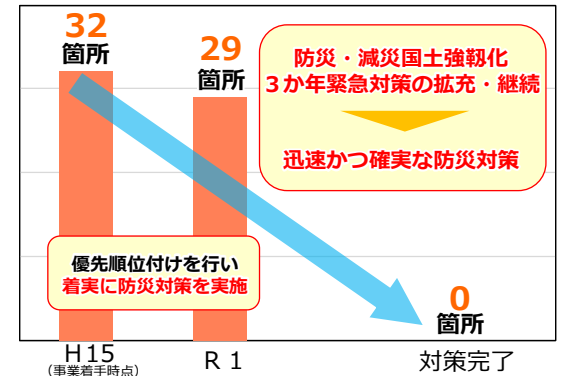
### ■養殖用餌料の輸送に毎日利用される道路の状況



### ■高知県産養殖クロマグロ取扱高の推移

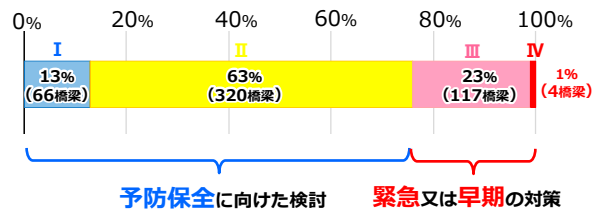


### ■県道安満地福良線(大月町泊浦～橋浦)における落石・崩壊危険箇所の推移



## ■着実かつ計画的な老朽化対策を進め、地域の産業を守る(四万十市の事例)

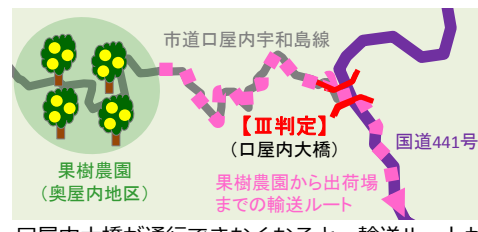
### ■1巡目定期点検結果(四万十市管理の507橋梁)



### ■口屋内大橋の損傷状況(判定区分Ⅲ)



### ■四万十市奥屋内地区での事例



・口屋内大橋が通行できなくなると、輸送ルートが途絶し、ゆずの出荷ができず生活に支障が生じる

・Ⅲ判定及びⅣ判定のうち着手済み(完了含む)は18橋梁(約4%)

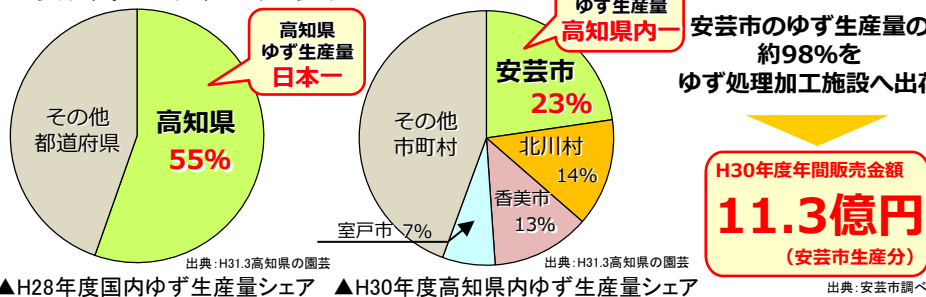
# 防災・安全交付金の充実

■安芸市の産業活動を支える県道の整備に不可欠な防災・安全交付金（安定的なゆずの栽培・出荷を支える県道4路線の事例）

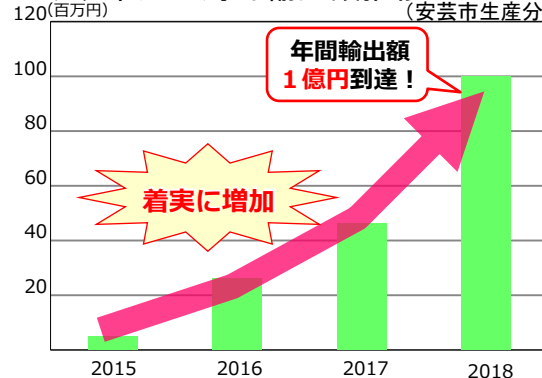
## ■ゆずの栽培や出荷を支える県道の防災対策状況



## ■安芸市のゆず生産状況



## ■ゆず果汁の海外輸出額推移



## ■防災上危険な箇所を通行して出荷



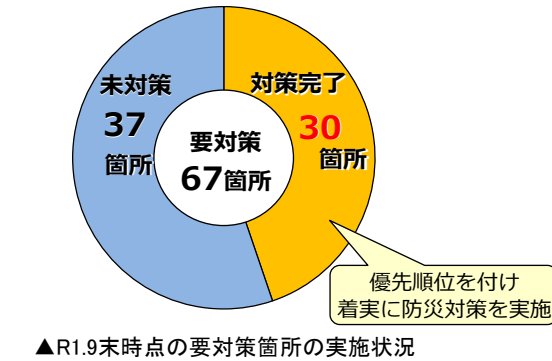
## ■防災上危険な箇所の対策事例



## ■防災上危険な箇所における法面崩壊



## ■防災上危険な箇所（要対策箇所）における対策実施状況（4路線の合計）



## ■未対策箇所における落石・法面崩壊の発生件数（4路線の合計）

